SNSで育児休業者向けに導入

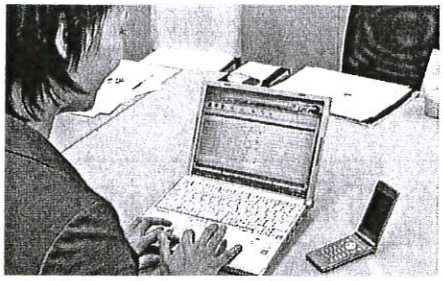
ITCネット

遠隔地

休業者コミュニティーサイトをチェックする。ときにはサイトに子どもの写真を掲載したり、日記を書いたりする。日記は「子育ての日常の様子を固い内容にならないように書く」ことを心がけている。

玉村さんが参加しているSNSは同社の育児中の社員だけが参加・閲覧できる。企業向けSNS運営のガイアックスがシステムを提供している。育児休業者や人事担当者のそれぞれが自分専用のページを持つ。コミュニティーに参加して日記の組みが導入されたのを機に参加した。産休前は携帯販売店舗に勤務していたが、産休中に同僚から復帰した現在も「子育てにかかわっているという実感がわいた」（玉村氏）。

販売会社は契約社員やアルバイトの比率が高いが、同社は約2000人の社員のうち正社員が約ができ「自分がその会社



玉村さんはパソコンや携帯を使って日記を書いたり閲覧したりしている

ITCネットワークの主な育児休業者支援制度

▼SNSエアリーダイバーシティ
◦実名と顔写真入りで休業中のメンバーと交流
◦休業制度に関する疑問や不安解消のコミュニティー
◦育児アドバイスや社内報などを配信
◦復帰スケジュールに合わせた連絡と管理
▼休暇期間の拡大
◦法令を上回り、特に認めた場合には、満1歳到達後の年度末（3月31日）まで延長
◦子どもが中学生までを対象とした学校行事の参加
◦アニバーサリー休暇の導入（年休の計画的取得）
▼男性の育休奨励
◦育児休暇取得者の感想発表（おむつ1パック付与）

そこで会社を長期間休んでいる間にも、社員同士が様々な悩みを共有できるコミュニティーが必要と考えた。

SNSの導入以前は育児休業者に社内報を郵送する程度にとどまっていた。だが、女性の社員数が急増。販売店も北海道や九州まで広がったため「どの社員がいつ産休に入り、いつ復帰するかなどの情報が把握しづらくなった」（山口氏）。

同社のSNSには育児休業者ごとの復帰スケジュールに合わせた連絡と管理機能を導入。「保育際に会って交流する「オフ会」を開く予定だ。社員のなかには自分の情報をあまり公表しない人もいるが「自宅の住所や本人の顔などを知ることができれば、さらに交流が深まる」（玉村氏）と期待を膨らましている。

今後は女性社員だけでなく、育休中の男性社員にもSNSへの参加を促していく。SNSは友達の間で利用されるケースが多いが、社員同士の新たなつながりをはぐくむツールとして内容を充実させる考えだ。

（花井悠希）

インターン

ネット事業に特化

リクルート　開発費2000万円用意

リクルートは大学・大学院生を対象に、インターネット領域の人材に特化したインターンシップ（就業体験）を始める。11月中旬から約2カ月かけて学生らに新たなネットビジネスの企画・実行に携わってもらう内容で、実現可能な提案について最大2000万円の開発予算を用意した。学生の新鮮な視点をサービス開発に役立てる。実施場所は東京・千代田のリクルート本社など。受け入れ先となる事業部門は宿・ホテル予約サイトやグルメ・クーポン情報サイトの企画を手がける「カスタマーアクションプラットフォーム推進室」や、ソーシャルゲームの企画・開発を担う「メディアテクノロジーラボ」など計7部門。

今回のインターンシップには実現が前提となるネットビジネスを提案・実行する「グループワーク型」（受け入れ予定数24人）と、プロジェクトの一員として社内の会議などに参加する「実務体験型」（同8人）の2種類がある。

グループワーク型は2012年春卒業予定の大学・大学院生を対象としており、ネット領域でのビジネスやサイト制作などの経験を条件としている。実務体験型は学年不問で、大学1～2年生も参加可能。ウェブ業界に興味を持っていることなどが応募の条件となる。応募期間は両コースとも10月25日まで。

中国で中途採用支援

日本企業向け　100社に紹介目指す

グローバルローワグパ

人材派遣・紹介のグローバルパワー（東京・台東、紺谷洋樹社長）は11月、中国で中途採用支援サービスを始める。上海市傘下の人材派遣・紹介大手、上海市対外服務（上海FESCO）と人材採用で提携する。中国進出を狙う日本企業を対象に、2～5年の実務経験を積んだ即戦力の人材を紹介する。初年度に70～100社への紹介を目指す。

グローバルパワーは上海FESCOを通じ、北京大学や清華大学など中国の上位20校の卒業生でかつ数年の職務経験をもつ中堅クラスの中途人材を募集。グローバル社は選考などの採用活動を支援する。

11月にはこの人材紹介サービスについて東京都内で説明会を開催。12月には上海で日本企業を集めた合同企業説明会を実施する。

グローバル社は今回の提携の一環として、日系企業の中国進出支援事業を手がけるA－commerce（エーコマース、東京・港、秋葉良和社長）とも研修事業で組む。

エーコマース社は中国人の内定者に日本の文化や商習慣などの研修を実施する。3社が連携し、募集から選考、研修まで一貫したサービスを提供する。

グローバル社は日本国内で若手や中堅の外国人

後3カ月ということで当面は無理をさせられないが、徐々にイベントや地方出張にも連れて行く機会を増やしたい」としている。

キャンディは7月23日生まれのオールドイング

武田米子会社にM&A統括組織

意思決定を迅速化

武田薬品工業は18日、グローバルでのM&A（合併・買収）戦略や開発品の導入などを統括する組織を、15日付で米子会社の武田ファーマシューティカルズ・インターナショナル（イリノイ州）に設立したと発表した。地域をまたがる買収案件の優先順位付けや意思決定の迅速化を狙う。

設立したのは「グローバル・ビジネス・デベロップメント」。日本の事業開発部や米子会社であるミレニアム社の事業開発の機能に加え、米欧・アジアの販売統括職が受け持つ事業開発機能を統括する。責任者にはミレニアム社でM&Aなどを手掛けてきたアンナ・プロトパパス氏が就いた。

を中心とした人材サービスを手がけている。